

## 平成23年度大阪府立清水谷高等学校 学校協議会（第2回）

記録概要

- 1 日時： 平成24年1月17日（火）午後2時40分～午後4時35分  
（委嘱委員は協議会に先立ち、午後1時30分から体育館で壱月祭を鑑賞）
- 2 場所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室
- 3 協議会委員：

委嘱委員

（敬称略）

座長 近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立新喜多中学校長	八田 磨
平成23年度 同窓清友会副理事長	伊藤 恵美子
平成23年度大阪府立清水谷高等学校 PTA 会計監査委員長	林 宏匡

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席（兼将来構想委員）、首席（兼進路指導部長、将来構想委員）、  
将来構想委員（教務部長、生徒部長、公選委員2名） ※書記：首席辻本

### 4 内容：

- ① 開会
- ② 配付資料説明
- ③ 学校長挨拶
- ④ 協議
  - ・ 壱月祭（合唱コンクール）について
  - ・ 本校の概況および生徒状況
    - ・ 平成22年度「学校教育自己診断」からみえるもの
    - ・ 平成23年度「学習などの生活実態と意識アンケート」集計結果より
  - ・ 主体性のある学習態度の育成について
- ⑤ 次回開催日程について
- ⑥ 閉会

### 5 協議：

壱月祭について

\*本日は、1年生の壱月祭を鑑賞して頂いた。

◆校内出席者より、本校の「壱月祭」の経過および活動状況について説明をした後、感想や意見などをうかがった。

- ・生徒が全面に出での運営の中、生徒は達成感を味わい、まさに「青春」を感じた。
- ・先生方と生徒の関係の良さが伝わる行事であった。
- ・高校の男子生徒の真剣さ、楽しさには驚かされた。
- ・支持率90%を得ているところが、すごいと思う。
- ・是非続けてほしい伝統行事であるからこそ、継続と広がりをもっと期待したい。そのためには、学年ごとの開催なのが残念な気がする。

#### ▶ 本校の概況および生徒状況について

「学校教育自己診断」の結果（平成19年度～22年度実施分）より  
 「学習などの生活実態と意識アンケート」（平成23年度）集計結果より  
 「振り返りHR」資料から

- ◆校内出席者より説明の後、意見交換をおこなった。
  - ・学校行事や部活動関係の項目については肯定的意見が多いが、学習面については肯定的な回答が少なく、生徒も教員も努力の必要があると思われる。
  - ・肯定的な回答が少ない項目に注目し、その結果を受けて何か教員側で取組みをしたのか — 今までは結果をまとめたにすぎない、と言えるかもしれない。
  - ・現在、学校教育自己診断の様式にはない「自由記述欄」を設けてみてはどうか？
  - ・学校への満足感の項目では経年的に上昇しているが、学区の拡大が原因として考えられる。
  - ・学校の方針と照らし合わせた分析も必要 — 清水谷の授業をどう感じるか？ という項目に対しては「少し難しい」の回答が多いが、学校方針として「少し難しく感じる程度の授業」を求めているなら、思い通りの結果と言える。
  - ・積み重ねのある意識アンケートなのかもしれないが、テレビ視聴時間という項目で、今の高校生の何が見えてくるのか少し疑問に感じる。
  - ・どの調査も、授業改善にどのように結びつけて行くかが課題である。
  - ・振り返りシートは、有効なツールである。定期的な「自己チェック」を継続して行うことで、生徒が「やる気スイッチ」を入れることを望む。
  - ・振り返りシートに記入して提出することで、満足してしまう傾向があるのではないか。記入する時に考えた状態が、持続してほしい。
  - ・生徒の清水谷に求めるイメージを調査し、教師が生徒に求めるイメージとの違いを考える中で進むべき方向性が見えてくるかもしれない。

※次回は、学校教育自己診断（平成23年度版）の集計結果により、討議を深化させる。

## 6 その他：

- ・今後の日程と内容の確認

**第3回** 3月2日（金）午後3時～ を予定